

平成 25 年度事業報告書

公益社団法人横浜歴史資産調査会

1. 平成 25 年度事業の概要

歴史的資産は、人々の生活と共に地域に息づき親しまれ豊かな景観をもたらしており、まちづくりのための貴重な資源ですが、歴史的資産を残していくことは容易なことではありません。魅力あるまちの景観を保全する視点からの歴史的建造物の外観保全と生活し活用する観点からの歴史的建造物の機能向上を調和させるための調査研究が重要であることから実態調査、事例研究等を実施しました。

さらに、歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、地域の市民の理解を得るとともに積極的に取り組むことができる人材を確保することが重要であることから、歴史を生かしたまちづくりに関するセミナー、シンポジウム、見学会等を開催することにより、歴史を生かしたまちづくりのための普及啓発、人財育成への取組を実施しました。

平成 25 年度において実施した具体的事業は以下のとおりです。

2. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）の概要

（1）歴史的建造物保全活用計画関連調査

（ア）歴史的建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物を保全、活用するため、歴史的建造物台帳に関する調査、保全活用方針の検討、保全活用計画の策定など、歴史的建造物保全活用計画関連調査を行いました。調査結果は、当調査会の公益目的事業である歴史を生かしたまちづくり推進事業の内容の検討に活用するとともに、具体的な歴史的建造物における課題等を整理しました。

本調査事業は、所有者へのヒアリング、歴史的建造物に関する文献調査、写真撮影、現地確認、地図へプロットする方法により行い、調査結果の分析については、建築の専門家、研究者と当調査会職員で構成する調査委員会を当調査会に設置して行いました。調査結果については、調査報告書をホームページに掲載することにより一般に公表しています。

（イ）市内鉄道遺産現況調査

鉄道は、全国に延伸し経済、文化の発展に大きく寄与してきました。さらに優れた機械、建築、土木等の技術を駆使して世界に誇る新幹線を構築し、便利で環境に優しい乗り物として日常生活に欠かせないものとなりました。鉄道の駅舎、線路、鉄橋等は、地域の生活、文化の発展に寄与しながら地域の変化とともに変遷し、鉄道の歴史は地域の歴史を考えるうえで重要な資源となっています。全国各地で地域の貴重な資源である歴史的車両、施設、構造物等の鉄道遺産を保存活用して個性あふれるまちづくりや地域活性化を推進していますが、当調査会は、各地域と連携した取組として鉄道遺産現況調査を行いました。

（2）普及啓発、人材育成事業

（ア）自主企画セミナー等（自主事業）

歴史的資産を生かしたまちづくりを推進するためには市民の理解が不可欠であることから歴史的建造物の保全、活用のための普及啓発を目的としてセミナー、シンポジウ

ム、見学会を開催しました。

平成 25 年 6 月 9 日（日）開催の「横浜歴史資産調査会公益法人化シンポジウム(明日の歴史を生かしたまちづくり)」では、一般市民約 90 名が参加して実施しました。

ヘリテイジセミナー「歴史を生かしたまちづくり」では、5 回にわたり開催し、一般市民のべ 140 名が参加して実施しました。

(イ) 歴史を生かしたまちづくりセミナー（受託事業）

歴史的資産に関する専門家の育成及びまちづくりに関する市民の理解を深めることを目的として、横浜市都市整備局の受託事業として歴史を生かしたまちづくりセミナーを実施しました。

平成 25 年 11 月 10 日（日）開催の「歴史を生かしたまちづくり 25 周年記念事業」では一般市民 95 名が参加して実施しました。

3. その他収益事業等の概要

(1) 収益事業

平成 25 年度においては、収益事業として、刊行物を販売しました。「都市の記憶—横浜の土木遺産」42 冊、「都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物（第 5 版）」321 冊、「横浜の歴史を生かしたまちづくり 25 周年（ヘリテイジカード）」47 冊を販売しました。

(2) その他の事業

(ア) 歴史を生かしたまちづくりに関する制度検討

横浜市都市整備局都市デザイン室から委託を受けて「歴史を生かしたまちづくり制度」の検討を行いました。検討に当たっては、「歴史を生かしたまちづくり推進のための制度検討研究会」を設置し、平成 25 年 8 月から 3 回にわたり実施しました。

(イ) 支援体制（会員募集）

当調査会の事業への継続的な支援を確保するために、ヨコハマヘリテイジクラブ会員を幅広く募集する会員募集事業を推進しました。